

【専門分野】

科目名	精神看護学概論	講 師 名	専任教員	学	2	履 修 期	第1学期			
単 位	1単位			年						
時間数	30時間 (内15時間)									
講師実務経験	看護師としての臨床経験あり。									
授業概要	精神看護の変遷・意義を理解し、精神疾患をもつ対象の人権を擁護するための制度及び看護の役割を学ぶ。									
授業科目目標	1. 精神看護の実践において起こりやすい倫理的問題について、歴史的背景や法律・制度と関連付けて理解できる。 2. 精神看護学において活用できる理論が理解できる。									
授業計画	1回：精神保健で扱われる現象 1) 精神障害と精神保健 2) わが国の精神保健医療政策と方向性  2回：精神看護の分野 1) 精神看護とは 2) 精神看護の役割の広がり 3) 精神看護の専門性（専門看護師、リエゾン精神看護） 4) 地域精神保健における第一次予防、第二次予防、第三次予防 5) 精神的健康の保持・増進としての精神保健 (1) 精神の健康とは (2) 精神的健康の定義  3～4回：精神医療福祉の歴史 1) 日本における精神医療の歴史と現在 2) 精神障害をもつ人を守る法・制度 3) 精神保健福祉法における医療の形態と患者の処遇 4) 入院患者の処遇と権利擁護  5～6回：精神看護の基盤となる概念・モデル 1) 対人関係理論（ペプロウ、オーランド、トラベルビー） 2) セルフケア理論（オレム・アンダー・ウッド理論）  7回：メンタルヘルス 1) 看護師のメンタルヘルス 2) 精神障害者をもつ家族の支援  8回：終了試験					講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験									
テキスト	1. 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健，メヂカルフレンド社。 2. 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護，メヂカルフレンド社。									
参考書	1. 宇佐美しおり・鈴木啓子：オレムのセルフケアモデル 事例を用いた看護過程の展開 第2版，ヌーベルヒロカワ。									
学生へのメッセージ	精神看護学の歴史と変遷を理解するとともに、精神疾患を持つ対象の人権を擁護する基本理念の大切さについて理解してほしいと思います。 <b>【関連科目】</b> 社会福祉、看護学概論、									

【専門分野】

科目名	精神看護学概論	講師名	非常勤講師 (6) 岡山医療センター医師 (9)	学	2	履修期	第1学期			
単 位	1単位									
時間数	30時間 (内15時間)									
授業概要	心の健康に焦点をあて、心の発達と心の健康維持・増進を図るための援助について学ぶ。人間の精神の働きや問題を健康の視点から理解することにより、看護場面での事例に適切に対応できる基礎的能力を養う。									
授業科目目標	1. 精神 (心) の健康について、脳の機能や精神力動理論が理解できる。 2. ライフサイクルの各期におこりやすい精神保健上の諸問題を理解し、必要な看護が理解できる。 3. 現代社会における精神保健上の諸問題を理解し、必要な看護が理解できる。									
授業計画	1回：精神 (心) の構造とはたらしき 1) 精神力動理論とその派生理論 2) 深層心理学 (欲動論) 3) 自我心理学 (防衛機制) 2回：精神 (心) の発達に関する主要な考え方 1) エリクソンの漸成的発達理論 2) ボウリビィの愛着理論 3回：精神 (心) の危機状況と精神保健 1) 危機とは何か (危機理論・危機モデル) 2) ストレスとコーピング 3) 適応と不適応 (適度なストレス状況とは) 4) セルフマネジメント 4回：暮らしの場と精神 (心) の健康 1) 学校と精神 (心) の健康 2) 職場・仕事と精神 (心) の健康 3) 地域における生活と精神 (心) の健康 5回：現代社会と精神 (心) の健康 1) 現代社会の特徴 6～7回：現代社会における精神保健の主な問題と精神保健 (対策・対応) 1) ドメスティック・バイオレンス 2) ひきこもり 3) 自殺 4) 不登校・いじめ 5) 虐待 6) 災害における精神保健福祉活動 8回：終了試験					講義	講義	講義	講義	講義
評価方法	筆記試験									
テキスト	1. 新体系 看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論・精神保健, メヂカルフレンド社. 2. 新体系 看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護, メヂカルフレンド社.									
参考書	1. 標準看護学講座 精神看護学, 金原出版.									
学生へのメッセージ	精神保健は社会・医療の変化に呼応して看護の対象である人々の健康を心身両面からサポートしようとする姿勢が求められてきています。精神の健康について豊富な見解と知識を持ち、看護を必要とする様々な問題の判断に適用できるようになってほしいと思います。 <b>【関連科目】</b> 社会学、心理学、倫理学、看護学概論、成人看護学概論、小児看護学概論、精神健康論									